

2013 年度 関西医科大学心療内科
夏期セミナー報告

東洋医学総合はりきゅう治療院 一鍼
院長 児山 俊浩



日 時：平成 25 年 7 月 24 日(水)～25 日(木) 9 時～18 時

場 所：関西医科大学枚方学舎・附属枚方病院

参加者：医師、医学生、臨床心理士、鍼灸師（愛知県鍼灸専門師会からは、長谷川 栄一先生、長岡 亨先生、児山 俊浩が参加）、アロマセラピスト、ヨーガ療法士。



1. プログラム内容

心身医学総論、各論(慢性疼痛、機能的消化管障害、糖尿病など)、治療技法(自律訓練法、バイオフィードバック、森田療法、面接技法など)、後期研修医との意見交換会、総合診療科 臨床見学実習(初診見学、病棟回診、症例検討会など)。



2. 関西医科大学心療内科夏期セミナーに参加して

名古屋大学総合診療科の伊藤 京子先生より関西医科大学心療内科夏期セミナーのご紹介を頂きまして、心療内科で行うアプローチは統合医療を進める上で勉強になると思い、参加させて頂きました。プログラム内容は、とても充実していて中身の濃い 2 日間でした。この度、参加させて頂きまして、心療内科にかかられる患者様の身体に出ている症状というのは、心の状態がとても反映されていて、これこそが根本原因であるということ強く感じました。そして、その根本原因の解決に向けて、患者様の視点に立った医療が行われているのが心療内科であり、とても素晴らしいと感動しました。「心身医学」という言葉の通り心と身体に関係性があると診て、心を診るのは身体を通して診ることが必要であり、そのためには「全身を診察する」とお聴きしました。そして、「臓器を診る」から「病を持った人を診る」への全人的医療が行われ、強く感銘を受けました。

またそれは、東洋医学と共通する部分でもあり、鍼灸院に来院される患者様にも、診断名がつかなくても症状のある患者様は多く、臨床の場での心理社会的背景まで含めた診療が不可欠であると思いました。患者様の痛みあるいは不調のある身体に触れることのできる鍼灸治療は、患者様の精神状態を傾聴できる機会が多く、これまでの体験を想像し、共感をし、患者様の求めていることを感じ、身体の変化を感じて頂けるように鍼灸治療を行い、患者様が能動的に歩んでいかれることをサポートするという事はあらためて大切なことであると感じました。

おわりに、夏期セミナーをご紹介してくださいました名古屋大学総合診療科の伊藤 京子先生、夏期セミナー主催の関西医科大学心療内科の福永教授を始め諸先生方に、この夏期セミナーに参加させて頂きまして、多くの学びと気づきを得ることができました。誠にありがとうございました。心より感謝を申し上げます。